

事業所名

放課後等デイサービスさくら3号館

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

1日

法人（事業所）理念	家庭的でアットホームな雰囲気を大切にしています。昼食やおやつの提供に楽しみなどたくさんの方の気持ちの共有を多く持ち、食に対する大切さに重点を置きます。また、子どもたち一人ひとりが学習や遊び、体験を通して自信を持ち成長していく姿を暖かく見守り、導きます。							
支援方針	児童・保護者の意思の尊重及び安心・安全を考慮し、適正・特性その他事情を踏まえた計画の作成を行い、放課後等デイサービスを提供します。五領域を踏まえた総合的支援を提供し、児童・ご家族が安心した日常を送れるよう取り組み・連携・支援します。							
営業時間	平日	10時	0分から	19時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容								
本人支援	健康・生活	生活リズムや生活習慣を整え、衛生や感染予防に配慮し健康的な生活が送れるように支援します。基本的な体調管理に加え、医師の指示による医療ケアを行います。子どもの特性や発達に配慮し心身の状態確認を行うことで、普段とは違う小さな異変にも速やかに気づき、対応出来るよう対応します。食事支援では一人一人の状態にあった食事形態の提供と本人の力を引き出す介助方法で安全で美味しい食事を楽しく支援します。排泄支援では、プライバシー保護を厳守し、特性・発達状態・性別に合わせた排泄支援を行います。 具体例：手洗いなどの清潔習慣の練習、習得・食育、食事のマナー向上・着衣の着脱・医療ケア など						
	運動・感覚	一人一人の特性や発達の状態に合わせ遊びを通じた運動を行います。子どもの興味関心・楽しみ・達成感を引き出す支援を行なっていきます。場面に応じた姿勢の保持や補助（装具を利用あり）し、ストレッチやマッサージなども取り入れ、筋力の維持向上をはかります。視覚・聴覚・触覚などを活用し、発達を促す支援を行います。（粗大運動・微細運動） 具体例：リトミック・積み木・折り紙・公園遊び など						
	認知・行動	子どもが意欲的に参加できるような遊びを通じて、成功体験や自己肯定感を育みます。個々の認知特性に着眼し、特性に合わせた支援を行います。五感を活用し張ってくる情報の処理ができる工夫を行い認知機能の発達を促します。対象物・外部環境・空間・音・時間・数などの概念の形成を図り、周囲の環境に対して自発的な行動を引き出せるように支援します。 具体例：楽器遊び・本・スヌーズレン・積み木・教材・食育 など						
	言語 コミュニケーション	様々な人との関わりや交流を通じ、人と関わる楽しさを感じ、自分の意思表示（自分なりのサイン）ができるように支援します。自分の気持ちや異変に気付けるよう働きかけ、自分なりの意思表示の伝達ができるように意思表示サインの方法と一緒に工夫し、場面での関わり方の経験を多く持てるよう支援します。 具体例：クイズ遊び・読み聞かせ・玩具遊び（要求・順番・交渉）・絵カードの活用・制作（援助要請） など						
	人間関係 社会性	様々な人との関わりの中で、人や環境への信頼感・安心感などを育みます。安心できる場所で、情緒安定を維持して過ごせるように支援します。また、様々な人との関わりの中で、自分の役割や交渉・折り合いをつけるなどの他者を思いやる気持ちを育む支援を行なっていきます。 具体例：おままごと・ルール遊び（ボーリングや魚釣りゲームなど）・教材（SST）						
家族支援	日常の心配事・困りごとに対して相談援助を行います。児童を支えるご家族（兄弟児も）のレスパイト・就労確保などの預かりニーズに対応し、必要に応じて延長支援を行います。	移行支援	ライフステージの移行期間には、必要に応じて移行支援を行います。移行の前後の事業所など相談支援員を中心とし、連携をとりながら、本人が安心してステップが踏めるように支援します。					
地域支援・地域連携	児童・保護者がスムーズな生活を送れるように、相談支援員・担任・他利用事業所担当者との連絡調整や連帯の実施を行います。	職員の質の向上	年間研修計画を基に、計画的、定期的に職員の研修を行います。 感染症・防災・防犯・虐待防止・事故防止など					
主な行事等	4月 お花見 7月 七夕 8月 夏祭り 10月 運動会 12月 クリスマス会 1月 初詣 2月 節分 3月 ひなまつり・お別れ会 他：誕生日会・外出など							